

コザしん景気レポート

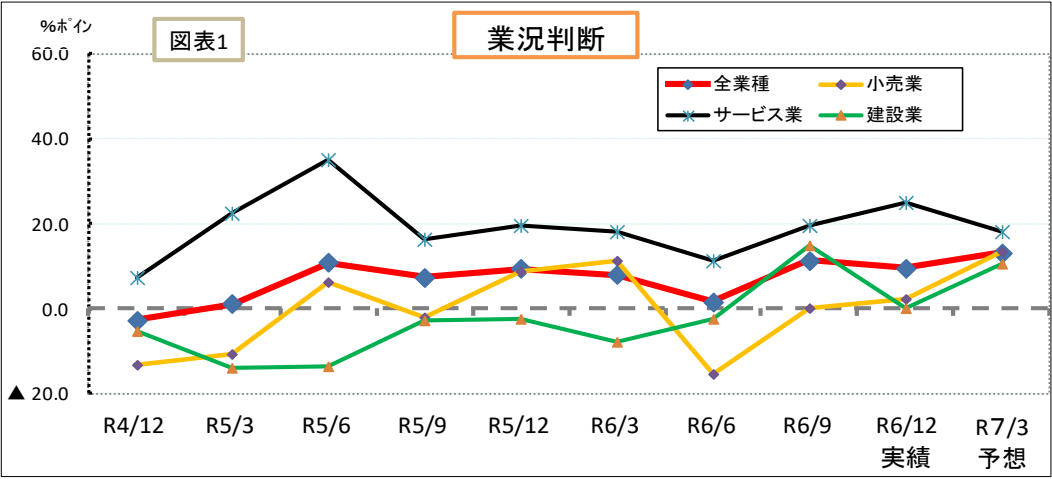
沖縄県中部地区の景気動向（2024 年 10～12 月）

（ 当金庫では、中部地区を中心とする取引先中小企業189社に対するアンケート調査結果をもとに景気動向を取りまとめています。＜調査実施期間：11月20日～12月19日＞ ）

- 沖縄県中部地区の令和6年10～12月の景気は、振れを伴いつつも改善が続いています。

主な産業別にみると、以下のとおりです（図表1）。

- ▼サービス業（）…「増収・増益」基調が続いており、ホテル、レジャー関連のほか、生活関連サービス等でも景気判断が改善しています。
- ▼小売業（）…販売価格の引上げが4年近くに及ぶ中で、売上判断に陰りがみられ、2年半振りに「増収」の判断がストップし、約2年振りに「減益」の判断となりました。
- ▼建設業（）…公共工事、新設住宅着工ともに減少する中で、売上、収益判断がマイナスとなり、業況判断は「良い」先と「悪い」先に分かれ、二極化しています。



業況判断

%ポイント

		全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
令和4年	10～12	▲ 2.7	▲ 5.3	0.0	▲ 13.3	7.1	▲ 5.3	3.8
令和5年	1～3	1.1	▲ 5.3	25.0	▲ 10.9	22.5	▲ 13.9	3.8
	4～6	10.8	14.3	7.1	6.4	35.0	▲ 13.5	15.4
	7～9	7.4	19.0	20.0	▲ 2.1	16.3	▲ 2.6	7.7
	10～12	9.3	4.8	20.0	8.7	19.6	▲ 2.4	8.3
令和6年	1～3	7.9	4.8	▲ 6.7	11.4	18.2	▲ 7.7	19.2
	4～6	1.6	5.0	▲ 13.3	▲ 15.2	11.1	▲ 2.6	29.2
	7～9	11.3	10.0	20.0	0.0	19.6	15.0	8.0
	10～12 実績	9.5	4.8	0.0	2.2	25.0	0.0	18.5
令和7年	1～3 予想	13.2	9.5	▲ 7.1	13.3	18.2	10.5	22.2

※業況判断D. I. = 「(良い+やや良い) - (やや悪い+悪い)」 回答社数構成比

業況判断: 「景気が<良い>または<やや良い>」と回答した企業の割合から「景気が<悪い>または<やや悪い>」と回答した企業の割合を差し引いたもの(＋は景気が良くなっている、▲は悪くなっていることを表す)。

—— 中部地区の業況判断は、上下を繰り返しています。本年の景気見通しについて、小売業を中心に先行き不透明感もみられます。物価高が4年目を迎えた中で、今春の賃上げ如何によって、個人消費の動向が景気の行方を左右するものとみられます。

- 人手不足については、全業種において厳しい状況が続いています（図表2）。
- 求人動向をみると、中部地区の有効求人倍率は、県内他地域と比較すると、依然として最も低い水準となっています（11月 0.80倍 図表18）。

地区別有効求人倍率の状況(令和6年11月)

倍

沖縄県全体	ハローワーク沖縄 (中部)	ハローワーク那覇	ハローワーク名護	ハローワーク宮古	ハローワーク八重山
1.12	0.80	1.06	1.20	1.50	1.63

※資料出所：沖縄：有効求人倍率；沖縄県は季節調整値、各地区の数値はすべて原数値

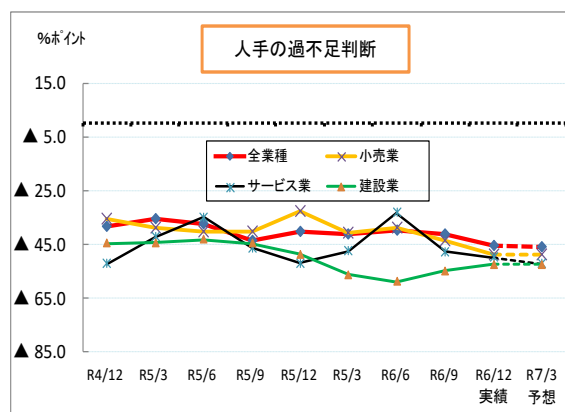
(図表2) 人手の過不足判断

%ポイント

		全業種	小売業	サービス業	建設業
令和4年	10~12	▲38.5	▲35.6	▲52.4	▲44.7
令和5年	1~3	▲35.8	▲39.1	▲42.5	▲44.4
	4~6	▲37.3	▲40.4	▲35.0	▲43.2
	7~9	▲43.7	▲40.4	▲46.5	▲44.7
	10~12	▲40.4	▲32.6	▲52.2	▲48.8
令和6年	1~3	▲41.3	▲40.9	▲47.7	▲56.4
	4~6	▲39.7	▲39.1	▲33.3	▲59.0
	7~9	▲41.2	▲43.8	▲47.8	▲55.0
	10~12 実績	▲45.5	▲48.9	▲50.0	▲52.6
令和7年	1~3 予想	▲46.0	▲48.9	▲52.3	▲52.6

※判断＝（過剰＋やや過剰）－（不足＋やや不足）

過剰
↓
不足



- 材料価格判断は、5割近くの先で「上昇」または「やや上昇」しています（図表3）。

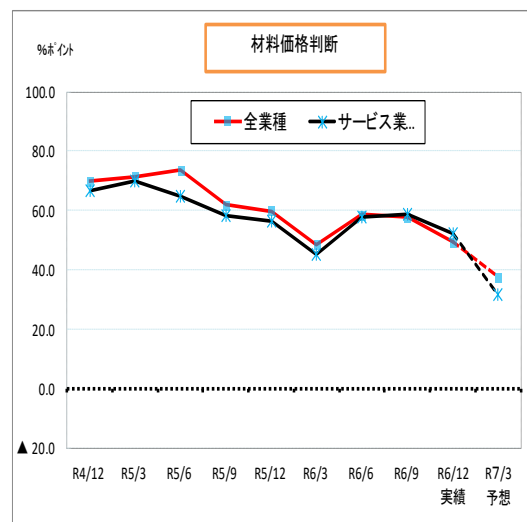
(図表3) 材料価格判断

%ポイント

		全業種	サービス業 (人件費)
令和4年	10~12	69.8	66.7
令和5年	1~3	71.5	70.0
	4~6	73.5	65.0
	7~9	61.9	58.1
	10~12	59.9	56.5
令和6年	1~3	48.7	45.5
	4~6	58.7	57.8
	7~9	57.7	58.7
	10~12 実績	49.2	52.3
令和7年	1~3 予想	37.6	31.8

※判断＝（上昇＋やや上昇）－（下降＋やや下降）

上昇
↓
下落



【参考】沖縄県の最低賃金（時間額）の推移 — カッコ内は上昇率%

令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
792円 (0. 2)	820円 (3. 5)	853円 (4. 0)	896円 (5. 0)	952円 (6. 2)

- 設備の過不足判断は、全体として概ね変化はなく、2割強の先が設備投資を実施しています（図表 4、5）。
- 11 月の企業倒産（負債総額 10 百万円以上）は、中部地区で 1 件、107 百万円発生しています（図表 19）。

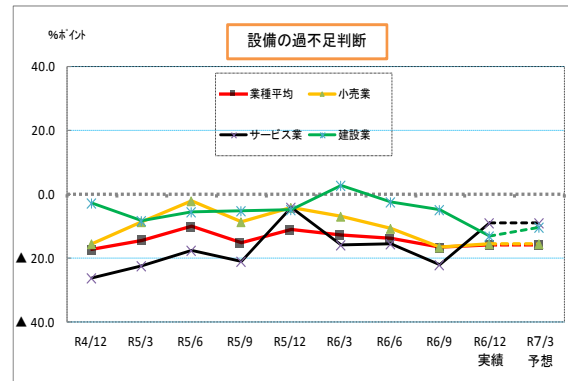
（図表4）設備の過不足判断 %ポイント

	業種平均	小売業	サービス業	建設業
令和4年 10~12	▲ 17.3	▲ 15.6	▲ 26.2	▲ 2.6
令和5年 1~3	▲ 14.4	▲ 8.7	▲ 22.5	▲ 8.3
4~6	▲ 10.1	▲ 2.1	▲ 17.5	▲ 5.4
7~9	▲ 15.2	▲ 8.5	▲ 20.9	▲ 5.3
10~12	▲ 11.2	▲ 4.3	▲ 4.3	▲ 4.9
令和6年 1~3	▲ 12.9	▲ 6.8	▲ 15.9	2.6
4~6	▲ 13.9	▲ 10.9	▲ 15.6	▲ 2.6
7~9	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 22.2	▲ 5.0
10~12 実績	▲ 16.0	▲ 15.6	▲ 9.1	▲ 13.2
令和7年 1~3 予想	▲ 16.0	▲ 15.6	▲ 9.1	▲ 10.5

※判断=（過剰+やや過剰）-（不足+やや不足）

過
剩

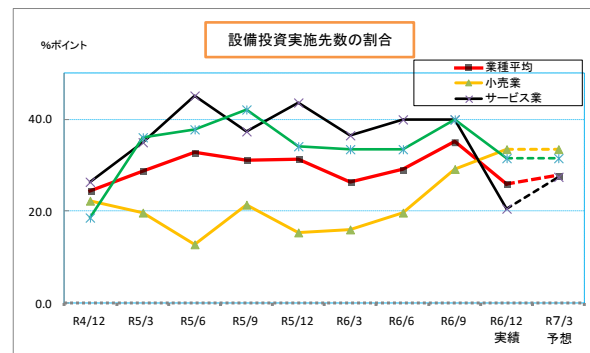
不
足



（図表5）設備投資（リース・レンタル含む）実施先数の割合 %

	業種平均	小売業	サービス業	建設業
令和4年 10~12	24.4	22.2	26.2	18.4
令和5年 1~3	28.8	19.6	35.0	36.1
4~6	32.7	12.8	45.0	37.8
7~9	31.1	21.3	37.2	42.1
10~12	31.4	15.2	43.5	34.1
令和6年 1~3	26.4	15.9	36.4	33.3
4~6	29.1	19.6	40.0	33.3
7~9	35.1	29.2	40.0	40.0
10~12 実績	25.9	33.3	20.5	31.6
令和7年 1~3 予想	27.8	33.3	27.3	31.6

※実施先数/回答社数



- 企業の資金繰り判断については、全体的に「苦しい」または「やや苦しい」が上回る状況が依然として続いています（図表 6）。

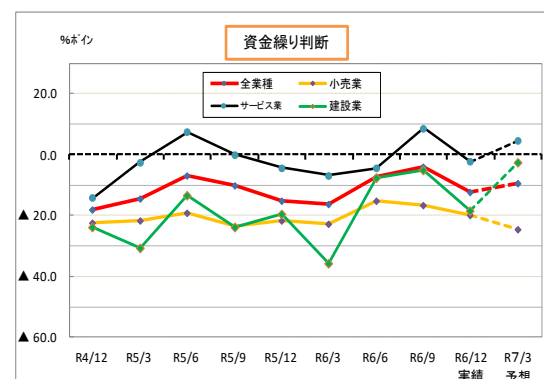
（図表6）資金繰り判断 %ポイント

	全業種	小売業	サービス業	建設業
令和4年 10~12	▲ 18.1	▲ 22.2	▲ 14.3	▲ 23.7
令和5年 1~3	▲ 14.6	▲ 21.7	▲ 2.6	▲ 30.6
4~6	▲ 7.0	▲ 19.1	7.5	▲ 13.5
7~9	▲ 10.0	▲ 23.4	0.0	▲ 23.7
10~12	▲ 15.0	▲ 21.7	▲ 4.3	▲ 19.5
令和6年 1~3	▲ 16.4	▲ 22.7	▲ 6.8	▲ 35.9
4~6	▲ 7.4	▲ 15.2	▲ 4.4	▲ 7.7
7~9	▲ 4.1	▲ 16.7	8.7	▲ 5.0
10~12 実績	▲ 12.2	▲ 20.0	▲ 2.3	▲ 18.4
令和7年 1~3 予想	▲ 9.5	▲ 24.4	4.5	▲ 2.6

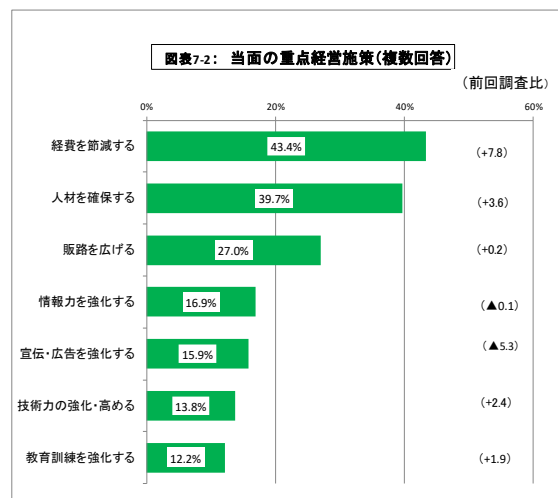
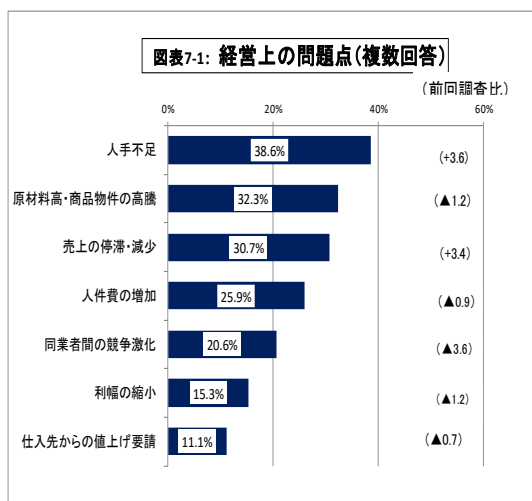
※判断=（楽+やや楽）-（苦しい+やや苦しい）

楽

苦
し
い



- 企業の経営上の問題点については、前回調査から順位に変動はなく、「人手不足」がトップで、以下、「原材料高・商品物件の高騰」、「売上の停滞・減少」の順となっています。また、問題点への対応は、「経費の節減」がトップで、「人材確保」、「販路を広げる」と続いています（図表 7-1、7-2）。



サービス業（）

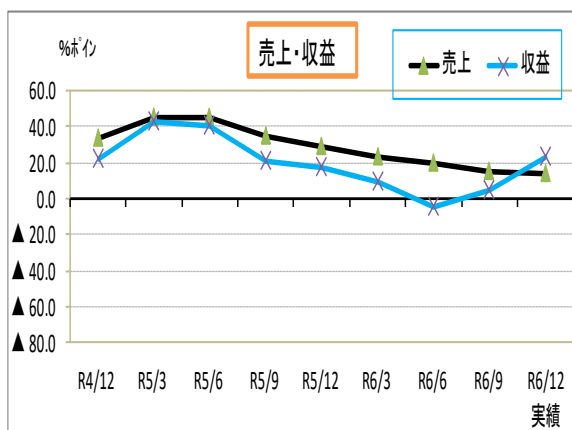
- ホテルの客室稼働率は、コロナ禍前の8割前後の水準まで回復しており、10、11月とも前年を上回りました（図表9）。タクシー実車率は、ほぼ前年並みで推移しています。売上判断は、ほぼ「横ばい」ですが、収益判断は「増加」となりました（売上判断：7～9月+15.2→10～12月+13.6、収益判断：同+4.3→同+22.7、図表8）。ホテル、レジャー関連のほか、自動車整備、生活関連サービス等において、景気判断が改善しています。

(図表8) 売上、収益判断 %ポイント

サービス業		売上	収益
令和4年	10～12	33.3	21.4
令和5年	1～3	45.0	42.5
	4～6	45.0	40.0
	7～9	34.9	20.9
	10～12	28.3	17.4
令和6年	1～3	22.7	9.1
	4～6	20.0	▲4.4
	7～9	15.2	4.3
	10～12実績	13.6	22.7

※判断<前年同期比>

= (増加+やや増加) - (減少+やや減少)



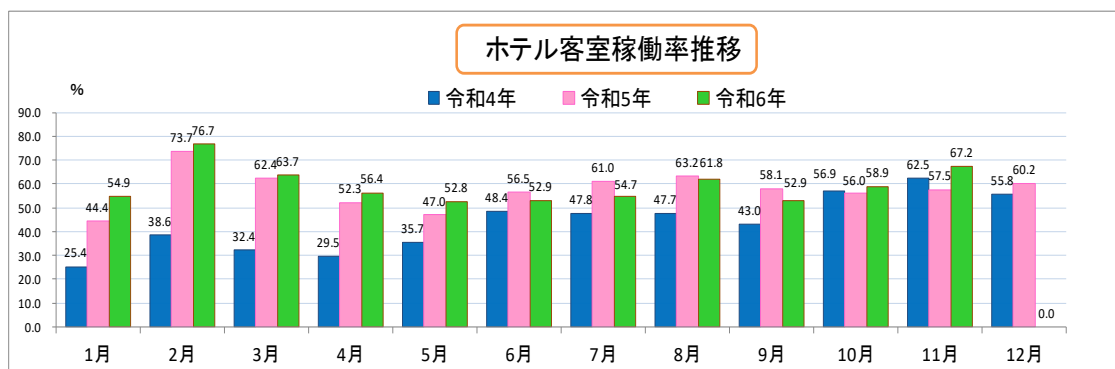
(図表9) ホテル客室稼働率<当金庫取引先>

	9月	10月	11月
令和5年	58.1	56.0	57.5
令和6年	52.9	58.9	67.2
増減率(ポイント)	▲5.2	2.9	9.7

(図表参考) タクシー実車率

(単位: %)

	9月	10月	11月
令和5年	49.9	50.6	50.1
令和6年	48.6	49.8	49.6
増減率(ポイント)	▲1.3	▲0.7	▲0.5



小売業 (⇒)

- 仕入価格、販売価格ともに上昇が続いています（仕入価格判断：7～9月+52.1→10～12月+62.2、販売価格判断：同+37.5→同+40.0、図表11）。販売価格の引上げが4年近くに及び中で、2年半振りに「増収」の判断がストップし、約2年振りに「減益」の判断となりました（売上判断：同+20.8→同±0.0、収益判断：同+27.1→同▲4.4、図表10）。飲食業の業況判断は、総じて良好ですが、食料品販売や中古車販売においては、業況判断が分かれるなど、小売業全体では、前回調査に続き、「良い」と「悪い」の判断が拮抗しています。

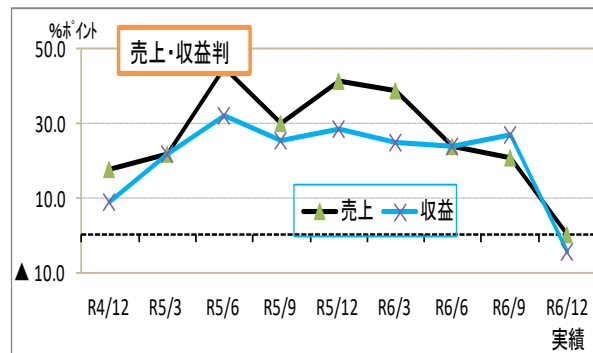
—— 小売業の経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（回答割合40.4%）がトップとなっており、続いて「仕入先からの値上げ要請」「人件費の増加」（同26.7%）が同率2位の順となっています（複数回答）。

(図表10) 売上、収益判断 %ポイント

小売業		売上	収益
令和4年	10~12	17.8	8.9
令和5年	1~3	21.7	21.7
	4~6	44.7	31.9
	7~9	29.8	25.5
	10~12	41.3	28.3
令和6年	1~3	38.6	25.0
	4~6	23.9	23.9
	7~9	20.8	27.1
	10~12	0.0	▲4.4
	実績		

※判断<前年同期比>

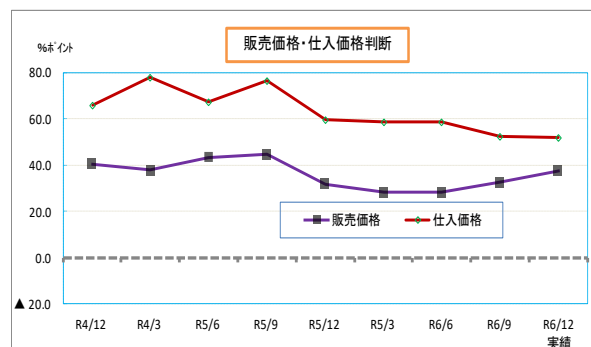
= (増加+やや増加) - (減少+やや減少)



(図表11) 販売価格、仕入価格判断 %ポイント

小売業		販売価格	仕入価格
令和4年	10~12	37.8	77.8
令和5年	1~3	43.5	67.4
	4~6	44.7	76.6
	7~9	31.9	59.6
	10~12	28.3	58.7
令和6年	1~3	29.5	47.7
	4~6	32.6	52.2
	7~9	37.5	52.1
	10~12	40.0	62.2
	実績		

※判断= (上昇+やや上昇) - (下降+やや下降)



建設業 (🏗️)

- 中部地区の公共工事は、前年の大型工事受注の反動減により、10~11月では前年比▲79.7%となりました(図表12)。中部地区4市*の10~11月の新設住宅着工戸数は、持家が同▲42.1%、貸家が同▲44.7%、分譲が同▲39.9%といずれも減少し、合計では同▲42.4%となりました(図表16)。

*沖縄市、うるま市、宜野湾市、浦添市

- 公共工事と民間工事を合わせた建設受注高は、10~12月は一部の先が増加する見込みであることから、前年を上回っています(7~9月受注高前年比:▲30.9%、10~12月受注高見込み同:+71.9%、図表13)。資材価格判断が低下しましたが、請負価格判断も低下する中で(資材価格判断:7~9月+65.0→10~12月+55.3、請負価格判断:同+27.5→同+21.1、図表14)、収益判断は、6調査回連続で「減少」および「やや減少」が上回っています(収益判断:同▲10.0→同▲21.1、図表15)。売上判断も5調査回振りにマイナスに転じました(売上判断:同+15.0→同▲5.3、図表15)。このような状況の下、業況判断は、前回調査に比べて低下しました。

(図表12) 公共工事請負金額 前年比・%

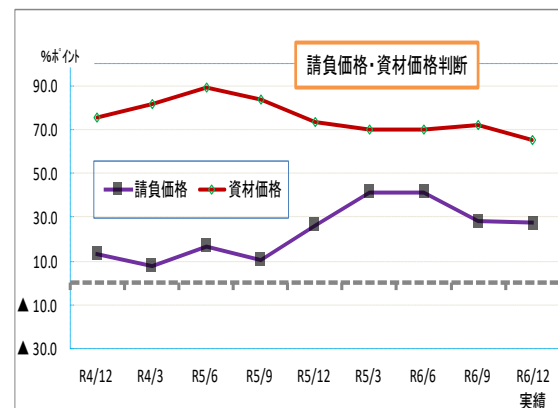
		沖縄県計	中部地区
令和4年度		1.3	14.4
令和5年度		76.7	15.3
令和4年	1～3月	61.2	87.4
	4～6月	3.3	50.2
	7～9月	▲28.6	▲26.0
令和5年	10～12月	▲13.0	▲14.0
	1～3月	▲46.3	▲34.7
	4～6月	▲32.5	▲51.8
令和6年	7～9月	▲51.5	▲101.9
	10～12月	▲22.9	▲19.7
	1～3月	▲10.4	▲29.5
令和6年	4～6月	▲30.1	▲51.9
	7～9月	▲29.6	▲79.6
	10～11月	▲28.0	▲79.7
令和4年	1月	64.1	44.0
	2月	58.9	76.1
	3月	60.8	121.6
	4月	▲41.5	0.5
	5月	51.1	▲22.5
	6月	▲132.5	▲116.5
	7月	▲40.6	▲28.6
	8月	▲12.0	▲33.7
	9月	▲45.5	▲17.3
	10月	▲11.1	▲69.7
	11月	▲22.1	▲13.2
	12月	▲37.6	▲38.7
令和5年	1月	58.6	▲33.8
	2月	▲141.8	▲68.6
	3月	54.9	56.7
	4月	6.4	9.5
	5月	2.8	3.9
	6月	▲55.0	71.7
	7月	68.0	223.0
	8月	▲32.3	36.7
	9月	150.2	54.1
	10月	▲23.0	▲43.4
	11月	▲73.9	▲110.4
	12月	58.8	84.0
令和6年	1月	279.4	▲5.4
	2月	▲9.1	84.5
	3月	▲11.1	20.4
	4月	▲19.5	69.9
	5月	58.7	73.8
	6月	51.0	4.0
	7月	▲2.2	85.9
	8月	▲12.5	52.4
	9月	▲55.1	85.9
	10月	▲66.5	87.4
	11月	▲12.9	72.9
直近月		百万円	百万円
実績		26,680	1,850
(前年同期)		(30,627)	(6,820)
資料出所		西日本建設保証㈱沖縄支店	

(図表13) 建設受注高<当金庫取引先> 百万円、%

	7～9月	10～12月(見込み)
令和5年	4,046	3,288
令和6年	2,795	5,651
増減率	▲30.9	71.9

(図表14) 請負価格、資材価格判断 %ポイント

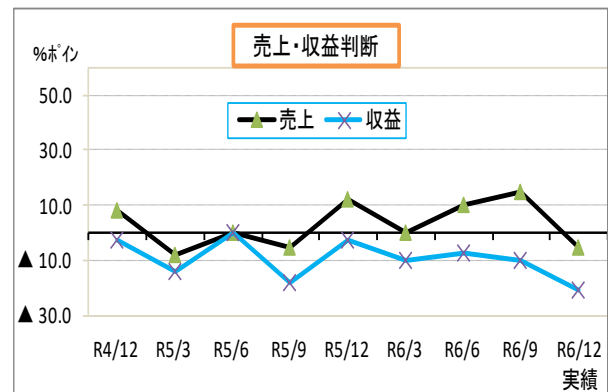
建設業	請負価格	資材価格
令和4年 10～12	7.9	81.6
令和5年	1～3	16.7
	4～6	10.8
	7～9	26.3
	10～12	41.5
令和6年	1～3	23.1
	4～6	28.2
	7～9	27.5
	10～12 実績	21.1



※判断=(上昇+やや上昇)-(下降+やや下降)

(図表15) 売上、収益判断 %ポイント

建設業	売上	収益
令和4年 10～12	7.9	▲2.6
令和5年	1～3	▲8.3
	4～6	0.0
	7～9	▲5.3
	10～12	12.2
令和6年	1～3	0.0
	4～6	10.3
	7～9	15.0
	10～12 実績	▲5.3



※判断<前年同期比>

=(増加+やや増加)-(減少+やや減少)

前年比・%

※中部地区の集計方法は、令和2年4月より国土交通省の本統計資料の一部廃止に伴い、4市（沖縄市、うるま市、宜野湾市、浦添市）合計に変更しています。

● 食料品製造業を中心に、約2年振りに「減収・減益」の判断となりました（売上判断：7～9月+10.0→10～12月▲9.5、収益判断：同±0.0→同▲23.8、受注残判断：同±0.0→+同±0.0、図表17）。

%ポイント

※判断=(増加+やや増加)-(減少+やや減少)

売上、収益は前年同期比 受注残は前期比



(図表18)雇用関係

倍

前年比・%

	新規求人数		有効求人倍率		雇用保険被保険者数	
	沖縄県 ※	ハローワーク沖縄 (中部)	沖縄県※ (季節調整※※)	ハローワーク沖縄 (中部、原計数)	沖縄県	ハローワーク沖縄 (中部)
令和4年度	20.9	30.4	1.04	0.93	0.0	▲ 0.2
令和5年度	19.8	78.7	1.04	0.95	0.0	1.9
令和4年						
1 - 3月	18.9	15.6	0.87	0.77	0.6	1.0
4 - 6月	27.9	35.2	0.95	0.78	0.2	0.2
7 - 9月	23.3	39.3	1.02	0.87	0.0	0.0
10 - 12月	20.6	27.2	1.09	0.99	0.1	▲ 0.2
令和5年						
1 - 3月	13.0	23.2	1.13	1.07	0.0	▲ 0.2
4 - 6月	10.5	7.3	1.19	1.00	0.1	▲ 0.5
7 - 9月	7.0	269.6	1.20	1.01	0.0	▲ 0.1
10 - 12月	▲ 2.4	▲ 2.1	1.13	1.00	0.4	0.3
令和6年						
1 - 3月	▲ 1.0	▲ 10.4	1.15	0.97	0.5	0.5
4 - 6月	▲ 7.6	▲ 17.2	1.10	0.80	0.9	1.4
7 - 9月	54.9	▲ 51.8	1.11	0.79	1.0	1.7
令和4年	1月	19.7	8.2	0.86	0.74	2.9
	2月	18.1	28.9	0.87	0.79	0.5
	3月	19.0	9.2	0.88	0.77	0.6
	4月	27.3	13.0	0.92	0.72	0.0
	5月	28.1	55.3	0.94	0.79	0.3
	6月	28.2	38.4	0.98	0.82	0.2
	7月	24.7	26.9	0.99	0.83	0.1
	8月	25.9	59.3	1.02	0.89	0.2
	9月	19.8	33.0	1.04	0.89	0.0
	10月	21.7	31.2	1.07	0.94	▲ 0.2
	11月	23.5	32.8	1.10	1.01	0.0
	12月	16.9	9.0	1.10	1.03	0.1
令和5年	1月	24.3	41.1	1.13	1.07	0.0
	2月	9.5	18.6	1.12	1.09	0.0
	3月	5.8	13.1	1.14	1.06	0.0
	4月	19.0	26.1	1.18	1.02	▲ 0.2
	5月	14.5	▲ 0.7	1.20	0.99	▲ 0.2
	6月	▲ 1.5	0.5	1.20	0.99	▲ 0.1
	7月	16.4	20.8	1.20	1.02	▲ 0.1
	8月	▲ 0.7	▲ 14.2	1.19	1.02	0.0
	9月	5.7	5.3	1.20	1.00	0.0
	10月	▲ 0.7	11.2	1.16	1.01	0.4
	11月	▲ 8.6	▲ 15.3	1.11	1.03	0.4
	12月	2.1	▲ 1.3	1.13	0.97	0.4
令和6年	1月	▲ 6.3	▲ 10.7	1.14	0.96	0.4
	2月	0.3	▲ 8.0	1.16	1.00	0.5
	3月	3.7	▲ 12.9	1.16	0.96	0.5
	4月	▲ 13.7	▲ 18.4	1.14	0.84	0.7
	5月	▲ 10.1	▲ 7.1	1.10	0.81	0.8
	6月	2.2	▲ 26.4	1.07	0.76	0.9
	7月	▲ 12.6	▲ 11.0	1.10	0.79	0.9
	8月	9.4	0.5	1.12	0.79	0.8
	9月	▲ 9.9	▲ 24.4	1.12	0.79	0.8
	10月	▲ 5.8	▲ 17.9	1.15	0.81	0.7
	11月	▲ 0.6	▲ 9.4	1.12	0.80	0.6
直近月	人	人	倍	倍	人	人
実数	10,889	2,895	1.12	0.80	451,613	136,350
(前年同月)	(10,951)	(3,194)	(1.11)	(1.03)	(448,770)	(134,745)
資料出所	沖縄労働局					

※令和2年10月分から沖縄県の表示は「就業地別」(全国のハローワークで受理した求人で沖縄県を就業地とする求人数)令和4年6月からハローワーク中部地区においても「就業地別」に変更しております。

※※有効求人倍率(沖縄県)の年度平均は原計数

(図表19)企業倒産

前年比・%

	沖縄県		中部地区	
	件数	金額	件数	金額
令和4年	▲ 10.5	▲ 44.3	▲ 17.6	52.8
令和5年	17.6	▲ 44.5	▲ 14.3	▲ 64.2
令和4年				
1 - 3月	▲ 18.8	▲ 42.3	▲ 50.0	▲ 18.3
4 - 6月	▲ 50.0	▲ 83.3	-	-
7 - 9月	25.0	210.0	50.0	32.2
10 - 12月	25.0	▲ 41.0	250.0	479.5
令和5年				
1 - 3月	▲ 15.4	▲ 81.3	0.0	▲ 75.5
4 - 6月	100.0	316.6	-	-
7 - 9月	100.0	68.1	66.7	16.8
10 - 12月	▲ 30.0	▲ 63.6	-	-
令和6年				
1 - 3月	27.3	▲ 2.4	-	7.8
4 - 6月	0.0	31.4	-33.3	▲ 62.1
7 - 9月	20.0	69.2	▲ 60.0	▲ 54.3
令和4年	1月	▲ 20.0	803.5	-
	2月	▲ 83.3	▲ 97.8	-
	3月	60.0	▲ 83.7	50.0
	4月	▲ 33.3	359.5	-
	5月	▲ 42.9	▲ 91.2	-
	6月	-	-	-
	7月	0.0	▲ 39.0	0.0
	8月	-	-	-
	9月	0.0	219	0.0
	10月	33.3	88.0	-
	11月	100.0	▲ 76.6	-
	12月	0.0	▲ 65.8	50.0
令和5年	1月	▲ 50.0	▲ 95.5	0.0
	2月	200.0	4200.0	-
	3月	▲ 25.0	▲ 84.5	0.0
	4月	50.0	72.9	-
	5月	0.0	474.2	-
	6月	-	-	-
	7月	200.0	56.4	0.0
	8月	▲ 66.7	▲ 94.8	0.0
	9月	500.0	828.9	200.0
	10月	▲ 75.0	▲ 75.5	-
	11月	100.0	218.7	-
	12月	▲ 50.0	▲ 82.2	-
令和6年	1月	100.0	225.0	0.0
	2月	100.0	▲ 63.5	-
	3月	▲ 33.3	▲ 22.1	▲ 66.7
	4月	33.3	▲ 36.1	-
	5月	0.0	▲ 92.0	0.0
	6月	60.0	735.1	200.0
	7月	33.3	647.6	-
	8月	300.0	905.0	0.0
	9月	▲ 83.3	▲ 92.7	-
	10月	▲ 16.7	▲ 30.4	-
	11月	0.0	20.1	-
直近月	件	百万円	件	百万円
実数	4	287	1	107
(前年同月)	(4)	(239)	-	-
資料出所	東京商工リサーチ沖縄支店			

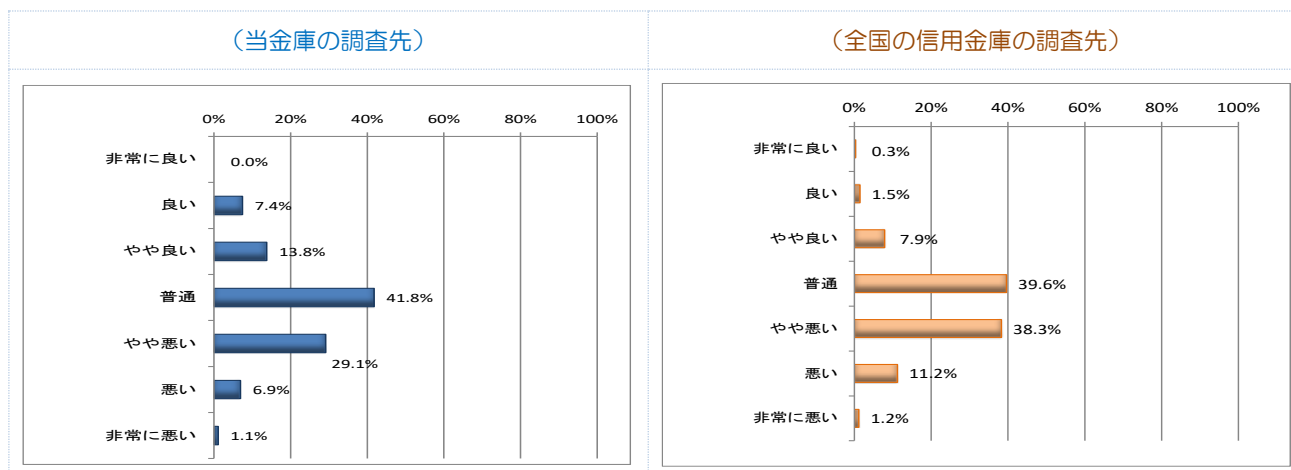
※負債総額10百万円以上

《特別調査》

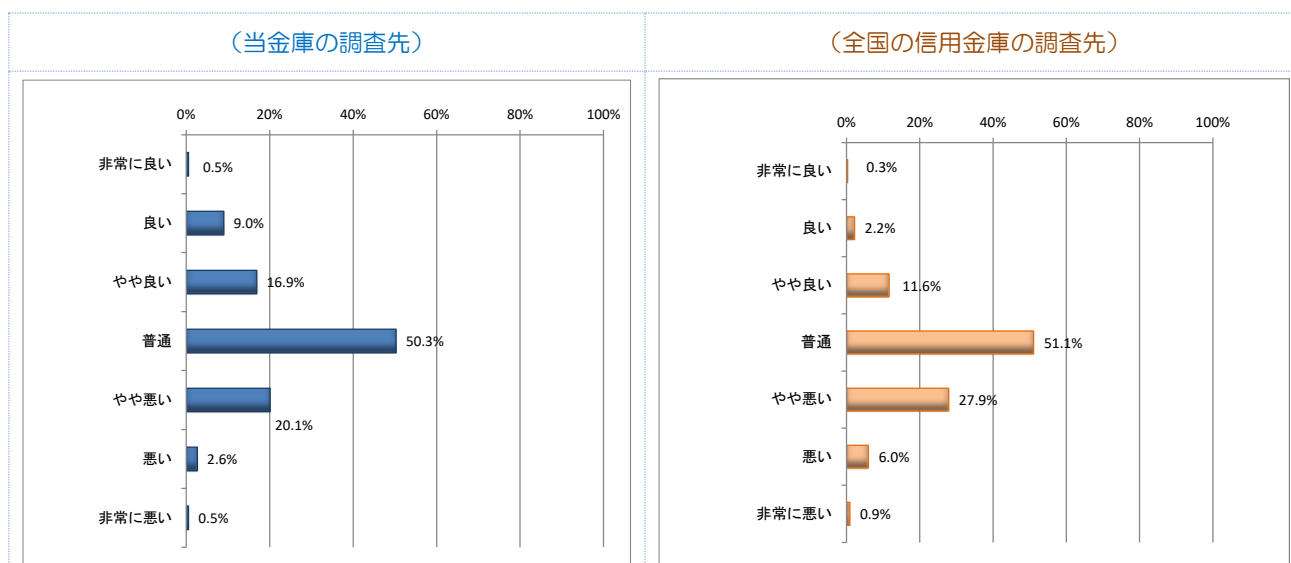
- 今回、「2025 年（令和 7 年）の経営見通し」をテーマに調査しています（図表 20）。
- 2025 年の日本の景気見通しについては、「非常に良い」「良い」および「やや良い」の合計は 21%となっています。
- 2025 年の自社の業況（景気）見通しについては、「非常に良い」「良い」および「やや良い」の合計は 26%で、1 年前の同じ調査（35%）を下回っています。
- 2025 年の売上増加を見込む先の割合（2024 年比 10%未満の増加および 10%以上の増加の合計）は 44%に上っていますが、1 年前の同じ調査（51%）を下回っています。業種別には、サービス業 55%、建設業 40%、小売業 37%となっています。一方、「変わらない」の回答は、全業種で 45%と、1 年前（30%）に比べて増えています。
- 自社の業況が上向く転換期として、「すでに上向いている」（23%）に「6か月以内」（13%）および「1 年後」（23%）を加えると 59%となりますが、1 年前（67%）を下回っています。一方、「見通しなし」（20%）は、1 年前（5%）を大きく上回りました。なお、景気回復は「2年以上先」および「見通しなし」の合計を業種別にみると、小売業 49%、サービス業 38%、建設業 37%となっています。
- 脱炭素化に向け、信用金庫業界に対し期待する取組みについては、「特にない」（34%）、「事例の紹介」（22%）、「行政からの支援内容の紹介」（22%）のほか、「設備導入支援」（11%）が挙げられています。また、信用金庫業界の取組状況については、「知らない」が 7 割に上っています。

（図表 20）2025 年（令和 7 年）の経営見通し

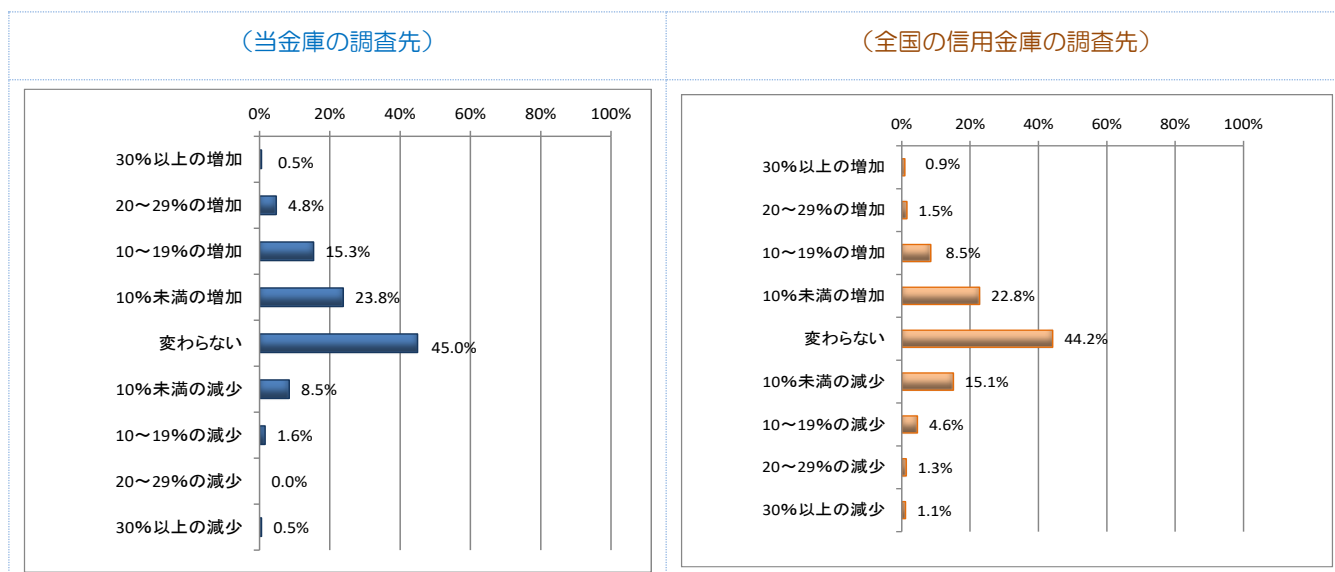
1. 貴社では、2025 年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から一つ選んでお答えください。



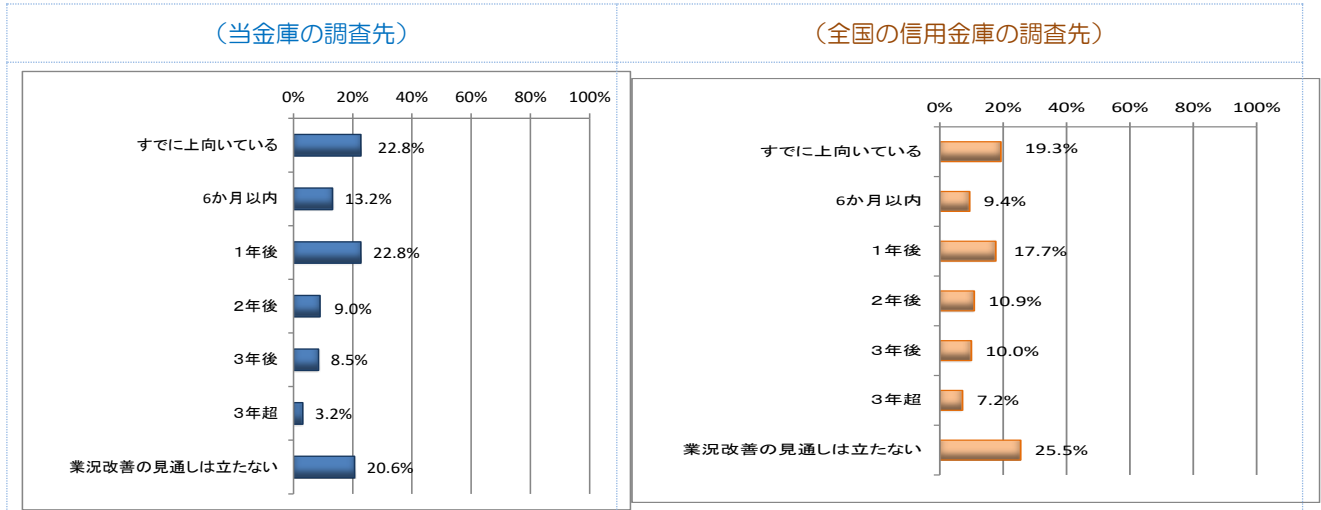
2. 貴社では、2025 年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から一つ選んでお答えください。



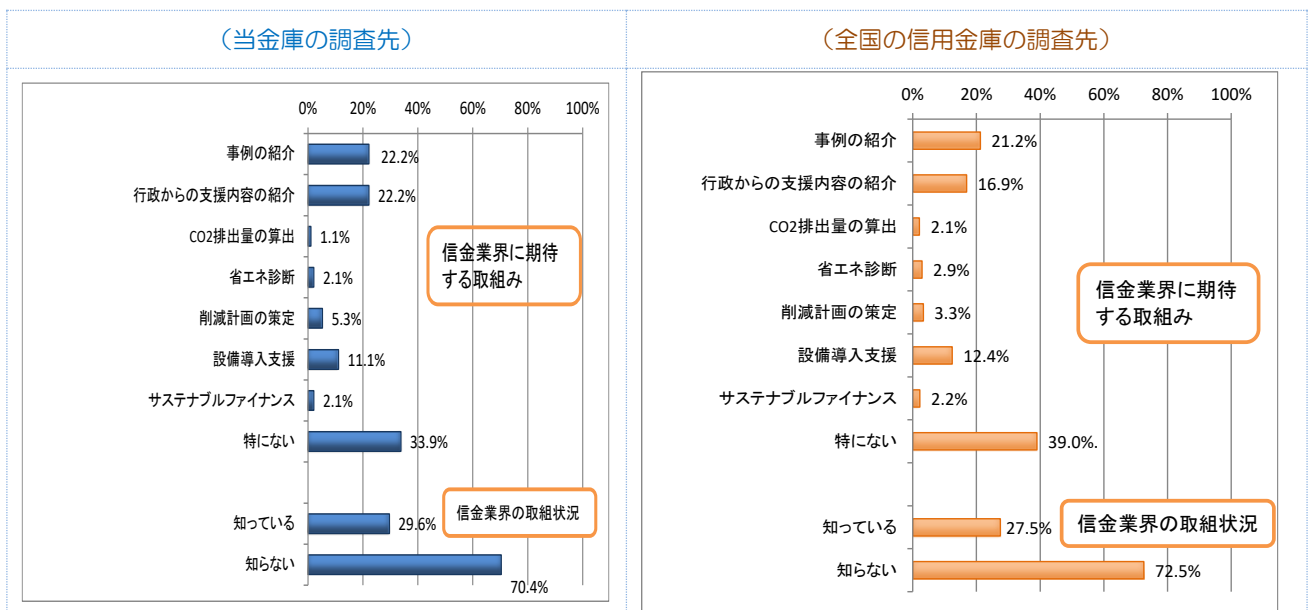
3. 2025 年において貴社の売上額の伸び率は、2024 年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から一つ選んでお答えください。



4.貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から一つ選んでお答えください。



5.貴社は、脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取組みはありますか。1～8の中から最も当てはまるものを一つ選んでお答えください。また、貴社は、信用金庫業界が地域のために積極的に取組みを行っていることを知っていますか。9～0の中から一つ選んでお答えください。



回答社数

	合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
調査依頼社数	199	21	15	47	46	42	28
回答社数	189	21	14	45	44	38	27
回答率	95.0%	100.0%	93.3%	95.7%	95.7%	90.5%	96.4%

◎店舗一覧 (2025年1月1日現在)

店舗名	住 所	電話番号	キャッシュコーナーの営業時間	
			平 日	土・日・祝祭日
001 本店営業部	〒904-0031 沖縄市上地2丁目10番1号	TEL 098(933)1139 FAX 098(933)1939	8:00~22:00	8:00~21:00
001 本店営業部 (沖縄市役所内出張所)	〒904-0014 沖縄市仲宗根町26番1号	TEL 098(923)0996 FAX 098(923)0997	8:00~18:00	稼働なし
002 具志川支店	〒904-2221 うるま市字平良川97番3	TEL 098(973)3379 FAX 098(973)6145	8:00~21:00	8:00~21:00
003 十字路支店	〒904-2154 沖縄市東1丁目1番20号	TEL 098(939)0050 FAX 098(938)7577	8:00~22:00	8:00~21:00
004 胡屋支店	〒904-0004 沖縄市中央1丁目18番3号	TEL 098(937)3338 FAX 098(937)7264	8:00~21:00	8:00~21:00
005 桃原支店	〒904-0105 北谷町字吉原489番地	TEL 098(936)1000 FAX 098(936)3891	8:00~21:00	8:00~21:00
007 嘉手納支店	〒904-0203 嘉手納町字嘉手納463番地13新町2号館108	TEL 098(956)2666 FAX 098(956)5230	8:00~21:00	8:00~21:00
008 普天間支店	〒901-2202 宜野湾市普天間2丁目32番9号	TEL 098(892)2444 FAX 098(892)2338	8:00~21:00	8:00~21:00
009 赤道支店	〒904-2143 沖縄市知花6丁目8番2号	TEL 098(921)1206 FAX 098(921)1222	8:00~21:00	8:00~21:00
010 名護支店	〒905-0013 名護市城1丁目14番15号	TEL 0980(52)4240 FAX 0980(53)5282	8:00~21:00	8:00~21:00
012 宜野湾支店	〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番25号	TEL 098(898)7135 FAX 098(898)7138	8:00~21:00	8:00~21:00
013 安慶田支店	〒904-0013 沖縄市室川2丁目33番65号	TEL 098(938)3740 FAX 098(938)3741	8:00~21:00	8:00~21:00
014 北谷支店	〒904-0112 北谷町字浜川8番地24	TEL 098(936)7711 FAX 098(936)7744	8:00~21:00	8:00~21:00
015 高原支店	〒904-2163 沖縄市大里2丁目24番1号	TEL 098(938)3325 FAX 098(939)7123	8:00~21:00	8:00~21:00
016 浦添支店	〒901-2127 浦添市屋富祖1丁目5番9号	TEL 098(874)5425 FAX 098(874)5426	8:00~21:00	8:00~21:00
017 那覇支店	〒900-0032 那覇市松山1丁目1番12号	TEL 098(868)0125 FAX 098(869)5719	8:00~21:00	8:00~21:00
018 開南支店	〒900-0022 那覇市樋川1丁目5番36号	TEL 098(987)4148 FAX 098(987)4136	8:00~21:00	8:00~21:00
019 安里支店	〒902-0067 那覇市安里1丁目8番9号	TEL 098(867)2058 FAX 098(941)5479	8:00~21:00	8:00~21:00
020 小禄支店	〒901-0145 那覇市高良1丁目1番1号	TEL 098(857)4541 FAX 098(857)4796	8:00~21:00	8:00~21:00
021 伊祖支店	〒901-2132 浦添市伊祖3丁目4番12-101号	TEL 098(875)3201 FAX 098(879)9937	8:00~21:00	8:00~21:00

令和7年1月発行
コザ信用金庫 総合企画部
〒904-0031 沖縄市上地2丁目10番1号
TEL (098) 933-1137 (代表)
<https://www.shinkin.co.jp/kozashinkin/>

memo

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal blue dashed lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a guide for handwriting practice. There are no other markings or text on the page.